

学校運営協議会 議事録

校名	府立東淀川 高等学校
校長名	森瀬 康之

開催日時	令和7年 1月 22 日 (水) 15:00 ~ 17:00
開催場所	大阪府立東淀川高等学校 会議室
出席者(委員)	松宮 新吾 委員長 大政 和彦 委員 松井久仁恵 委員
出席者(学校)	森瀬校長 坪内教頭 神辺首席・生徒指導部長 尾崎教務部長 長谷川進路部長 大見生徒会主担 渡辺保健部長 寺西情報部長 田淵首席・総務部長 宮前3学年主任 塩田2学年主任 安岡1学年主任 楊多文化主担
協議資料	R6学校経営計画・R7学校経営計画

議題等(次第順)

1 令和6年度学校経営計画

英語を話す生徒と日本語を第一言語とする生徒との交流、
学校教育自己診断：「学校にゆくのが楽しい」などの項目は高水準で推移、生徒と保護者の間で回答にギャップ（授業のわかりやすさ、生徒80%以上、保護者60%台）、クラブ活動の時間が勤務時間超過を招く。

2 分掌・学年からの年間総括報告

首席・将来構想委員会 教科・分掌横断的な協働は進んでいない
教務部 デジタル採点ほぼ全教員使用、新カリキュラム3学年で実施完了、
進路指導部 新しい調査書発行は順調、専門コース3年間の流れを確立・今後コース長が中心に指導を推進するシステムを確立
生徒指導部 2週間に2回以上遅刻者を指導・担任中心に協力・遅刻数は減少、全教員による指導を追求
生徒会 クラブ入部率50%程度・生徒会活動が活性化、学校公式インスタグラム試行
保健部 生徒保健委員会を継続して活性化、生徒とともに学校の環境改善・啓発活動を推進
総務部 情報発信の紙媒体からデジタル化へ・googlebloggerを活用して学年・学校ブログの発信
情報部 情報端末の活用90%台後半を達成、今後は使用の内実をより良いものにする
3学年 多様性を認め合う仲間づくりが実を結んできた。
2学年 生徒の成長には差がある。授業を大切にすることを中心に指導を進めてゆきたい
1学年 高校生らしく成長、年度末に学年イベントを企画。人間関係を築くのが苦手な生徒をサポートして2年を迎えたい
多文化部 交流授業に注力した。くろーばぁ・一般生徒ともに良い学びをすることができた。進路指導に課題を感じる

3 令和7年度学校経営計画

生徒による情報発信の試行（学校説明会で生徒が前に登場、かつ生徒会・クラブの取り組みを学校インスタグラムで発信など

1 授業への印象で生徒と保護者の回答に差。肯定的な意見について「とても満足」と「どちらかといえば満足」の内訳の推移について分析が必要。

2 総務部、修学旅行のブログへのアクセス数について

3 3学年の「自己調整型」＝自己管理できる生徒を育む教育が実を結んでいる

4 デジタル化を含めて学校の環境が目まぐるしく変わる、クラブを頑張れば「長時間労働」が問題化など、とても難しい状況。その中でも生徒に寄り添った指導を。

5 教員が忙しい中でも生徒に時間を割いてもらっていると感じた。これからも生徒に寄り添った教育を進めてほしい

6 学校教育自己診断の数値は高止まり。今後は情報部の報告にあったように「質を高める」に焦点を移行していくことが必要

令和7年度学校経営計画承認